

### 第3回 加賀市上下水道事業経営検討委員会

日 時	令和7年12月23日(水) 14:00~15:30
場 所	市民会館3階 大ホール
議 題	(1) 下水道事業の課題と取組について (2) 下水道使用料の算定の考え方について (3) 現行の料金体系と料金見直しの方向性について
資 料	第3回加賀市上下水道事業経営検討委員会 次第 下水道事業の課題と取組(資料1) 下水道使用料の算定の考え方について(資料2) 現行の料金体系と料金見直しの方向性について(資料3)
傍聴者	あり
議事録	
1. 開会	
2. 挨拶	上下水道部長 挨拶
3. 議事	
事務局	資料の説明 「下水道事業の課題と取組(資料1)」 について説明
4. 質疑応答	
会長	2点教えてほしい。 1点目、【資料1】のP6に記載の社会資本整備総合交付金について、現状は重点配分の要件を満たしていないという認識でいいのか。 2点目、「重点配分も含め交付金は現在も今後も必要。交付要件の水準を満たすことは不可欠」とあるが、これについては議論の余地はない、ということでもいいのか。
事務局	お見込みのとおり。事務局としては、今後も交付金の要件を満たして、施設の更新を行っていきたいと考えている。ゆえに、これからの議論の前提条件として捉えていただきたい。
委員①	全国的には、農業集落排水事業を廃止して公共下水道事業に統合する事例が多い。【資料1】のP4で、加賀市の農業集落排水事業については、「分校地区」、「箱宮地区」の2地区は、公共下水道への接続を実施済みとのことだが、残りの9地区について、公共下水道に接続する予定はあるのか教えてほしい。

事務局	<p>実施済みの2地区に関しては、地区のすぐそばに公共下水道の管路があったため比較的簡便に接続ができた。しかしながら、残りの9地区については距離や地形の問題があり、接続工事のコスト及びその後の維持管理を含めて考えると、公共下水道への接続はそれほど有利ではないと考えている。</p> <p>農業集落排水以外の、地域下水道にあたる若葉台処理区については、公共下水道に統合ができないか調査し、将来的に有効な方法を検討していきたいと考えている。</p>
会長	<p>接続に関しては、調査検討の後、市民に対する話し合いの場を持つ予定であるということによろしいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。</p>
委員②	<p>社会資本整備総合交付金の重点配分要件については、経営戦略に定めた業績目標が達成される令和15年に要件を満たし、交付を受ける予定という認識でよろしいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。令和15年に、経費回収率86.8%を達成できるように経営戦略を定めている。現状、【資料1】のP6に記載の要件Aは達成しているため、引き続きAは達成し続けながら、要件Bの方を令和15年に達成したい。</p>
委員②	<p>現時点では、要件A達成で重点配分を受けているが、令和15年以降は要件Bも達成しなければ、この重点配分はなくなってしまうという解釈でよいか教えてほしい。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。</p>
会長	<p>耐震化の進捗状況についても教えてほしい。</p>
事務局	<p>最初に、建物では、現在使用している片山津地区の加賀市浄化センターは耐震性能を満たしていないため、更新はせず、大聖寺川浄化センターへ統合することになっている。大聖寺川浄化センターについては、主要な施設は耐震性能を満たしていることが確認できている。流域下水道関係のポ</p>

	<p>ンプ場に関しても、耐震性能は問題ないということも確認している。</p> <p>その他のポンプ場などは、現在、耐震性能についての調査を行っており、中間報告によると、今後、補強工事が必要になってくるという結果が出ている。そのため、工事内容や予算立てにおける計画作成準備を進めているところである。</p> <p>下水道管については、結合部に耐震用のジョイントを設けるなどの施工はしている。しかし、被災時に管同士が抜けないようにするにはいるものの、地震により管の一部が浮き上がり、流れが悪くなるというリスクはどうしてもある。事前の対策だけでなく、被災後の応急処置や復旧処置の対策を行い、地震に対応する予定でいる。</p>
委員③	<p>【資料1】のP4で、老朽化に伴う更新費用の中に、耐震化のための費用は含まれているのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>ストックマネジメント計画では、更新工事に併せて耐震工事も行っていくことになっている。耐震性のない古い管路は、更新の際に耐震性のある管に交換することになることから耐震化のための費用を含んでいます。</p>
会長	<p>更新の際に、新しい管を入れることで耐震化にもつながっているということによろしいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。</p>
事務局	<p>資料の説明</p> <p>「下水道使用料の算定の考え方について（資料2）」</p> <p>「現行の料金体系と料金見直しの方向性について（資料3）」</p> <p>について説明</p>
会長	<p>【資料3】のP12では、3パターンある使用料改定率のうち、15%改定だと「適正」、それ以下だと「過小」、それ以上だと「過大」というように評しており、15%改定しか選択肢がないように捉えられるが、あくまでのシミュレーション上の数字ということで、政策上のこととは別であるので、この文言にとらわれず、委員の皆様には意見を言ってほしいということによろしいか。</p>
事務局	<p>あくまでもシミュレーションなので、どの改定率パターンが下水道事業</p>

	<p>にとって良いのか、事業が望ましい方向に行くように議論してもらいたいと考えている。</p>
委員④	<p>2点教えてほしい。 1点目、下水道に接続している各家庭の割合について教えてほしい。 2点目、未接続の家庭に対する取組を教えてほしい。</p>
事務局	<p>1点目、下水道事業の供用開始エリアにて接続済みの家庭の割合、つまり水洗化率は、令和6年度で82%。18%が未接続ということになる。 2点目、未接続家庭には、戸別訪問をして、接続を促している。年間3千件余りの各家庭に訪問し、チラシを配ったり、対面でお話ししたりしている。それでも「老夫婦のみの家庭で収入がない」、「今後住む予定がない」等、様々な事情があって未接続の状況が続いている。</p>
会長	<p>下水道法では、速やかに接続することが義務となっていると思うのだが、未接続の市民に対する罰則はないのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>法律上は義務とはなっている一方、罰則規定は定められていないため、なかなか接続が進まないのが現状である。</p>
委員⑤	<p>水道事業から借入をしているとのことだが、水道事業も経営が厳しいという話を前回の委員会で聞いたため、借入が果たして今後できるのか、そのあたりのシミュレーションは行っているのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>水道事業からの借入額自体は、資本費平準化債の制度が変わってきたこともあり、過去よりも少なくなってきている。現在10億円ほど残高があるが、毎年少しずつ返済し、借入残高は減少する予定となっている。 また、水道事業では、人口減少等を要因として収益が落ちてくるため、貸付できるか否か注視し、下水道事業では、できるだけ借りないような運営に努めていきたいと思う。</p>
会長	<p>そのほか、ご意見はないか。</p>
委員⑥	<p>他の委員の質問及び事務局の説明により、下水道事業の現状などの内容の理解ができた。</p>

<p>委員①</p>	<p>茨城の事例を挙げると、県全体で、農業集落排水を公共下水道に接続する動きがあり、結果として下水道事業の収益は改善している。加賀市についても、統合による維持費の削減といった抜本的なダウンサイジングについて、次回以降のストックマネジメント計画に反映してもらいたいと考えている。</p> <p>【資料3】のP12に記載の使用料改定率のパターンについては、基準内繰入金が使用料単価150円を超えると減額となってしまうので、どうしてもパターンⅡとパターンⅢが行ったり来たりしてしまう。ゆえに、Ⅱ～Ⅲあたりのところで料金改定率のパターンを決めていく方がいいのかなと思う。</p> <p>また、水洗化率を伸ばしていくことが有収水量の改善につながってくると思うので、そこも継続して努力して行ってほしいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>ダウンサイジングにより他県で収益改善した事例があるので、そういったものも参考にしてもらいたい。また水洗化率も、接続することによるメリットもあるはずなので、事情はあれども、相続や売却の際に不動産の価値が高まる等を市民に示しながら、水洗化率を伸ばして行ってほしいと思う。</p>
<p>委員⑤</p>	<p>下水道は、橋や道路、公園などのインフラと違い、目に見えないものであるが、災害により下水道が使用不要となった場合の影響はかなり大きく、市民はそこで初めて下水道の重要性を認識するのだと思う。値上げの検討においては、そういった下水道の重要性について市民に対して説明する機会を増やす必要があると思う。</p> <p>また、施設の統合についても、同じ施設を立て直した場合と、廃止して他施設と統合した場合とでどれだけコストが違うのかについて、説明責任を市民に対してはたしていないのではないかなと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>災害時に一番困るのが水の問題である。今現在は、能登地震もあり、住民の意識は高まっていると思われるので、この時期に改善維持の必要性を市民に説明することは必要なのではないかなと思う。そういった機会を今後設けて行っていただきたい。</p>
<p>委員⑦</p>	<p>主婦としては、水道及び下水道を、当たり前と考えており、下水道については水道に付随するものと考えていた。この機会に、下水道の重要性について再認識できた。</p>

<p>5. 閉会の挨拶 事務局</p>	<p>シミュレーションを見ると、15%改定が適正だと思うが、生活への影響も考えてしまう。水道の重要性は分かるが、支払えない、接続できない人のことも考えて、市民の方にたくさん説明してもらえたら、皆さんの賛同をもらえるのではないかと思う。</p> <p>委員⑧ 交付金の活用は非常に重要なことなので、これについては少しでも有利な条件で交付金を確保できるように、国の施策で利用できるのものは積極的に利用していただきたいと思います。</p> <p>委員⑥ 値上げが避けられないことは十分理解した。主婦として、料金の問題について考える機会をいただけてありがたい。</p> <p>委員④ インフラが整うのは大変良いことだが、維持費用もそれなりにかかる。選別をして、必要、不必要を考えていく必要があると思った。</p> <p>委員③ 下水道管が壊れてしまって使えなくなることによる影響を、市民の方にしっかり周知していくのも一つの方策かと思う。</p> <p>会長 加賀市の生活基盤をどうやって支えていくかという本質的な問題だと感じた。すべての施設更新を無条件でやるのではなく、取捨選択をして進めていくことが大事かなと思う。現行の使用料収入では事業が成り立たないことも理解したので、料金改定は避けられないが、できるだけ国の補助金など活用できるものを研究するなど、もう一步踏み込んでほしいと思う。市民の生活に直結するものなので慎重な判断が必要だが、喫緊の課題でもあるので、本審議会の委員が感じたことを市民の皆様にも感じてもらうための説明をしていただきたい。</p> <p>意見も出尽くしたようなので、このあたりで議事を終了する。</p> <p>長時間にわたり活発な議論をありがとうございました。これで第3回上下水道事業経営検討委員会を閉会する。</p> <p>次回の審議会日程 令和8年2月3日(火)14時からを予定しており、会場は本日と同様市民会館3階 大ホール にて行う。</p>
-------------------------	---